



2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月11日

上場会社名 株式会社チヨダ 上場取引所 東
コード番号 8185 URL http://www.chiyodagr.co.jp
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 町野 雅俊
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 井上 裕一郎 TEL 03-5335-4134
半期報告書提出予定日 2024年10月15日 配当支払開始予定日 2024年11月5日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	48,854	1.6	1,614	74.1	1,829	70.8	1,588	91.2
2024年2月期中間期	48,089	3.9	927	—	1,070	—	830	—

(注) 包括利益 2025年2月期中間期 1,260百万円(76.5%) 2024年2月期中間期 714百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	45.16	45.15
2024年2月期中間期	23.65	23.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期中間期	84,979	52,637	61.0	1,472.33
2024年2月期	84,762	51,853	59.9	1,444.31

(参考) 自己資本 2025年2月期中間期 51,812百万円 2024年2月期 50,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2025年2月期	—	17.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,250	2.1	1,250	16.7	1,600	8.5	1,400	△24.4	39.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年2月期中間期	38,609,996株	2024年2月期	38,609,996株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	3,418,857株	2024年2月期	3,450,098株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年2月期中間期	35,172,165株	2024年2月期中間期	35,121,444株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

2025年2月期の個別業績予想 (2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	3.8	2,400	35.1	2,000	18.4	56.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	7
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(中間連結貸借対照表に関する注記)	12
(中間連結損益計算書に関する注記)	12
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	13
3. 補足情報	14
(1) 個別経営成績(累計)	14
(2) 個別財政状態	14

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの経済活動正常化が進むなか、一部で足踏みが残るものの、個人消費の回復やインバウンド需要の増加が見られるなど、緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、原材料・エネルギー価格の高騰や円安による物価上昇、海外景気の下振れリスク等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する靴・衣料品小売業界では、社会行事の再開や外出機会の増加による需要の伸びが見込まれる一方、更なる物価上昇や、実質賃金の伸び悩み等の影響による消費者マインドの低下が懸念されております。

このような環境下、当社グループは、専門店ならではの視点で日常の便利さを追求し、快適な生活を支援するプライベートブランド商品の開発、提案を行ってまいりました。

また、広告手法の見直しと効率化を図ることで売上拡大と経費削減に努め、不採算店舗の閉店遂行、業務効率の改善等に取り組むことで、利益確保に努めてまいりました。更に、実店舗以外の販売チャネル拡大のため、EC事業や卸売を含めた法人事業の強化を行い、安定した収益源の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高48,854百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益1,614百万円(同74.1%増)、経常利益1,829百万円(同70.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益1,588百万円(同91.2%増)となりました。

セグメント別の業績の概要は次のとおりであります。

<靴事業>

靴事業におきましては、単体の中期経営計画を策定し「Change(チェンジ)」と言う基本方針のもと、更なる成長に向け、「プライベートブランド商品の拡大」「店舗・業態別戦略」「デジタル販促強化とOMOの更なる推進」「販売チャネルの拡大」「業務効率の改善」「サステナビリティ経営の実践」をはじめとした、様々な施策に取り組み、靴専門店としてのサービス向上に努めてまいりました。

商品面では、主力プライベートブランド「セダークレスト」の、手を使わずに立ったまま履ける「スパットシューズ」が、発売開始から2年半で累計販売数100万足を超えるほどの大ヒット商品へと成長しました。ジュニアシリーズやサンダルシリーズ、安全靴シリーズなど、新たなラインナップを次々と発売し、また、テレビCMや雑誌タイアップをはじめ、SNS、動画配信等のデジタルマーケティングを組み合わせた販促により客層を広げること的成功し、更に、一度ご購入頂いた方にもその利便性の高さからリピートして頂くことで大ヒットへと繋がりました。他にも、プライベートブランド「フワラク」からは、ニット素材を使用し、ソフトかつ快適性を重視した「極ラクパンプス(リラックスシリーズ)」や、足の形状を記憶する中敷きと、美脚効果を意識したシルエットの「ウェッジスニーカー(スポーツシリーズ)」等、消費者の利便性を追求した、靴専門店ならではの商品を多数発売してまいりました。

販売促進では、「スパットシューズ」や「フワラク」のテレビCMを全国放映し、WEBサイトやSNSを活用して商品認知度を高めることで、新規顧客の獲得に努めてまいりました。また、WEB広告を活用して自社ECサイトへの流入を図るなど、デジタル販促を活用したマーケティング活動を推進し、集客力向上に努めてまいりました。更に、自社アプリ会員への入会促進を強化するとともに、自社アプリ会員向けのポイント増量キャンペーンを実施するなど、既存顧客へのメリットを高め、再来店促進に努めてまいりました。

出退店につきましては、5店舗を出店、13店舗を閉店し、当中間連結会計期間末の店舗数は878店舗(前連結会計年度末比8店舗減)となりました。

経費につきましては、人事効率の改善や管理費の抑制を行いましたが、賃金上昇やインフレ等の影響により増加が避けられない項目があり、販売費及び一般管理費は前年同期比2.6%増となりました。

以上の結果、靴事業の売上高は42,292百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益は2,117百万円(同61.0%増)となりました。

<衣料品事業>

衣料品事業におきましては、「暮らしに役立つ商品と企業活動を通じて地域社会に貢献します。」という企業理念のもと、お客様の生活に密着したライフスタイル提案を行いました。

商品面では、夏の機能的商品として、プライベートブランド「NAVY」の「SA・RA・RI」シリーズを拡充し、猛暑対策として夏物売れ筋商品の追加投入、残暑対策として夏素材の初秋商品新規投入を行い、季節性商品へのニーズに対応してまいりました。更に、レディース部門再構築の一環として、株式会社ワールドとの協業によるブランド「HusHusH」の販売を開始し、客層拡大に努めてまいりました。

また、収益体質の改善に向けた取り組みとして、不採算店舗の閉鎖、持ち越し在庫の処分を進めると共に、徹底した仕入コントロールにより過剰なキャッシュアウトを抑制し、収益性の改善に努めてまいりました。

出退店につきましては、3店舗を出店、11店舗を閉店し、当中間連結会計期間末の店舗数は270店舗(前連結会計年度末比8店舗減)となりました。

経費につきましては、店舗数減少に伴う賃借料や人件費等の抑制により、販売費及び一般管理費は前年同期比14.5%減となりました。

以上の結果、衣料品事業の売上高は6,561百万円(前年同期比19.4%減)、営業損失は505百万円(前年同期は営業損失392百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当中間連結会計期間末における当社グループの総資産は、84,979百万円(前連結会計年度末比217百万円増)となりました。

流動資産は、56,396百万円(前連結会計年度末比58百万円増)となっております。これは、主として現金及び預金が26,799百万円(前連結会計年度末比194百万円増)、売掛金が4,245百万円(同910百万円増)、商品が23,159百万円(同737百万円減)となったことによるものであります。

固定資産は、28,583百万円(前連結会計年度末比158百万円増)となっております。これは、主として投資有価証券が2,635百万円(前連結会計年度末比318百万円増)、繰延税金資産が4,447百万円(同157百万円増)、敷金及び保証金が8,982百万円(同152百万円減)となったことによるものであります。

(負債の状況)

当中間連結会計期間末における負債合計は、32,342百万円(前連結会計年度末比567百万円減)となりました。

流動負債は、19,821百万円(前連結会計年度末比447百万円減)となっております。これは、主として電子記録債務が11,151百万円(前連結会計年度末比761百万円減)、買掛金が3,201百万円(同372百万円増)、未払法人税等が708百万円(同93百万円増)となったことによるものであります。

固定負債は、12,521百万円(前連結会計年度末比119百万円減)となっております。これは、主としてリース債務が644百万円(前連結会計年度末比112百万円減)、長期預り保証金459百万円が(同22百万円減)、退職給付に係る負債が9,018百万円(同94百万円増)となったことによるものであります。

(純資産の状況)

当中間連結会計期間末における純資産は、52,637百万円(前連結会計年度末比784百万円増)となりました。

これは、主として利益剰余金が44,245百万円(前連結会計年度末比1,069百万円増)、非支配株主持分が824百万円(同227百万円減)となったことによるものであります。自己資本比率は61.0%(前連結会計年度末比1.1ポイント増)となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年10月10日に公表いたしました「2025年2月期第2四半期(中間期)連結・個別業績予想の修正及び棚卸資産評価損の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,604	26,799
売掛金	3,335	4,245
商品	23,897	23,159
返品資産	174	149
その他	2,331	2,048
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	56,337	56,396
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,484	1,535
工具、器具及び備品(純額)	238	231
土地	4,193	4,130
リース資産(純額)	251	228
その他(純額)	7	26
有形固定資産合計	6,175	6,151
無形固定資産	4,846	4,718
投資その他の資産		
投資有価証券	2,316	2,635
敷金及び保証金	9,134	8,982
繰延税金資産	4,289	4,447
その他	1,677	1,662
貸倒引当金	△14	△12
投資その他の資産合計	17,403	17,714
固定資産合計	28,425	28,583
資産合計	84,762	84,979

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,828	3,201
電子記録債務	11,912	11,151
ファクタリング債務	※ 16	※ 23
リース債務	282	273
未払法人税等	615	708
未払消費税等	1,210	382
契約負債	98	114
返品負債	433	383
賞与引当金	427	442
役員賞与引当金	9	2
店舗閉鎖損失引当金	9	20
ポイント引当金	0	0
リース資産減損勘定	9	9
資産除去債務	50	28
その他	2,364	3,077
流動負債合計	20,268	19,821
固定負債		
リース債務	756	644
繰延税金負債	43	20
退職給付に係る負債	8,923	9,018
役員退職慰労引当金	9	12
転貸損失引当金	42	33
長期預り保証金	481	459
長期リース資産減損勘定	18	13
資産除去債務	2,088	2,078
その他	278	240
固定負債合計	12,641	12,521
負債合計	32,909	32,342

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,893	6,893
資本剰余金	7,489	7,489
利益剰余金	43,176	44,245
自己株式	△6,830	△6,767
株主資本合計	50,729	51,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49	65
繰延ヘッジ損益	24	△89
退職給付に係る調整累計額	△22	△22
その他の包括利益累計額合計	52	△47
新株予約権	19	—
非支配株主持分	1,052	824
純資産合計	51,853	52,637
負債純資産合計	84,762	84,979

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	48,089	48,854
売上原価	※1 25,396	※1 25,662
売上総利益	22,692	23,191
販売費及び一般管理費	※2 21,764	※2 21,577
営業利益	927	1,614
営業外収益		
受取利息	20	41
受取配当金	2	2
受取家賃	323	280
その他	98	125
営業外収益合計	444	449
営業外費用		
支払利息	4	4
不動産賃貸費用	264	216
その他	33	14
営業外費用合計	301	235
経常利益	1,070	1,829
特別利益		
固定資産売却益	1	1
受取補償金	—	49
違約金収入	1	—
特別利益合計	3	51
特別損失		
固定資産除却損	4	2
減損損失	126	76
店舗閉鎖損失	3	0
店舗閉鎖損失引当金繰入額	18	20
リース解約損	10	5
特別損失合計	163	104
税金等調整前中間純利益	910	1,776
法人税、住民税及び事業税	278	533
法人税等調整額	△4	△117
法人税等合計	273	416
中間純利益	636	1,359
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△194	△228
親会社株主に帰属する中間純利益	830	1,588

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	636	1,359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	15
繰延ヘッジ損益	69	△114
退職給付に係る調整額	△1	0
その他の包括利益合計	77	△99
中間包括利益	714	1,260
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	907	1,488
非支配株主に係る中間包括利益	△193	△227

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	910	1,776
減価償却費	418	391
減損損失	126	76
貸借料との相殺による保証金返還額	60	39
固定資産売却損益(△は益)	△1	△1
固定資産除却損	4	2
店舗閉鎖損失	3	—
違約金収入	△1	—
受取補償金	—	△49
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△2
賞与引当金の増減額(△は減少)	26	15
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	165	94
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△7
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	2
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△11	△8
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	1	10
受取利息及び受取配当金	△22	△43
支払利息	4	4
売上債権の増減額(△は増加)	△768	△910
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,355	762
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,668	△335
未払費用の増減額(△は減少)	217	524
未払消費税等の増減額(△は減少)	518	△782
リース解約損	10	5
為替差損益(△は益)	—	0
その他	△584	325
小計	△1,232	1,890
利息及び配当金の受取額	15	26
利息の支払額	△4	△4
法人税等の支払額	△303	△603
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,524	1,309

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,622
定期預金の払戻による収入	300	100
有形固定資産の取得による支出	△261	△269
有形固定資産の売却による収入	1	65
有形固定資産の除却による支出	△114	△89
無形固定資産の取得による支出	△37	△71
無形固定資産の除却による収入	15	0
無形固定資産の除却による支出	△0	△0
投資有価証券の取得による支出	△701	△307
投資有価証券の売却及び償還による収入	300	—
投資事業組合からの分配による収入	3	8
敷金及び保証金の差入による支出	△24	△72
敷金及び保証金の回収による収入	235	263
その他	△24	54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△308	△1,941
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△144	△145
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△472	△492
財務活動によるキャッシュ・フロー	△617	△637
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,450	△1,270
現金及び現金同等物の期首残高	25,231	26,198
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 22,780	※ 24,927

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※ ファクタリング債務

前連結会計年度(2024年2月29日)

連結子会社(株)マックハウスのファクタリング債務であります。

当中間連結会計期間(2024年8月31日)

連結子会社(株)マックハウスのファクタリング債務であります。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 期末棚卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次の棚卸資産評価損が売上原価に含まれております。

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
	609百万円	455百万円

※2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
広告宣伝費	1,594百万円	1,646百万円
役員報酬及び給料手当	6,475	6,406
賞与引当金繰入額	347	444
退職給付費用	257	244
役員退職慰労引当金繰入額	1	2
地代家賃	5,540	5,255
減価償却費	431	394
貸倒引当金繰入額	0	△0
その他	7,115	7,181

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
現金及び預金勘定	23,170百万円	26,799百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△389	△1,871
現金及び現金同等物	22,780	24,927

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	靴事業	衣料品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,948	8,140	48,089	-	48,089
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	39,948	8,140	48,089	-	48,089
セグメント利益又は損失 (△)	1,314	△392	922	5	927

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
 2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. 当社グループの売上高は、すべて顧客との契約から認識した収益です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「靴事業」及び「衣料品事業」セグメントにおいて、継続的に営業損失を計上している資産グループ及び
 共用資産並びに市場価格が著しく下落している資産グループにつきまして、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、
 「靴事業」80百万円、「衣料品事業」46百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	靴事業	衣料品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	42,292	6,561	48,854	-	48,854
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	42,292	6,561	48,854	-	48,854
セグメント利益又は損失 (△)	2,117	△505	1,611	2	1,614

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
 2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. 当社グループの売上高は、すべて顧客との契約から認識した収益です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「靴事業」及び「衣料品事業」セグメントにおいて、継続的に営業損失を計上している資産グループ及び
 共用資産並びに市場価格が著しく下落している資産グループにつきまして、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、
 「靴事業」36百万円、「衣料品事業」39百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

3. 補足情報

2025年2月期第2四半期(中間期)の個別業績(2024年3月1日~2024年8月31日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	41,373	3.6	2,219	97.1	2,358	80.6	2,053	95.1
2024年2月期中間期	39,945	7.1	1,126	—	1,305	—	1,052	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	58.39	58.38
2024年2月期中間期	29.97	29.88

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	76,837	50,504	65.7
2024年2月期	74,993	48,911	65.2

(注) 中間個別財務諸表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。